

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語は、全体としては全国と同程度かやや高い正答率となっています。A問題は4領域ともほぼ均等の正答率でした。B問題は「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について全国平均と比べてやや低い結果となっています。特に漢字、古典、文法についての理解や基礎語彙の不足がやや目立ちます。
- ・数学は、A問題もB問題も全国とほぼ同等の正答率となっています。全体的には高いものの、関数・グラフに関する問題については全国よりやや低い結果となっています。また、B問題の文字や図形の活用の問題については全国平均より高い結果が出ています。
- ・理科は、全国とほぼ同等の正答率となっています。全体的には高いものの、科学的領域の「濃度」に関する問題については全国よりやや低い結果となっています。また、物理的領域の問題については全国平均より高い結果が出ています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
今年度も「家庭学習」に関する項目について全国より高い数値を示しました。読書時間や図書館利用に関する項目も同様に全国より高い数値になっています。家庭学習の取り組みを続けてきた成果が出ているものと見る事ができます。地域社会やボランティア活動に興味を持っている生徒の割合も全国に比べて高いものとなりました。
- ・課題となる項目
将来の夢や目標を持つ生徒の割合や、自分には良いところがあると考えている生徒の割合が全国より低い数値を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・授業の始めに目標（めあて）を示し、終わりに学習内容の振り返りを行い、ノートやワークシートにまとめる活動を続け、家庭学習につないでより意欲的に取り組めるような活動を継続します。
- ・国語では、普段から根拠と理由を明確にして自分の考えを持つことや、それが的確適切に伝わるように話す、書くといった表現活動（伝え合い）を大切にします。そのための話し合い活動を増やしていきます。また、語彙の獲得、言葉と言葉のつながり、適切な漢字表記や辞書の活用を意識した学習活動もあわせて行います。
- ・数学では、基礎基本の定着として、教員が数学的な用語を使い正しい筋道をたてて説明し、振り返りプリントを用いて、基本的な計算問題の定着を図っていきます。日常生活や社会における問題を、既習事項の中の数学的表現を活用して解決し、発表活動を積極的に授業に取り入れていきます。
- ・理科では、自然現象への関心を高めるため、目的意識をもった観察・実験を行い、その結果を日常生活や社会と関連付けていきます。また、基本的な原理・法則を理解し、知識が定着するように振り返りプリントなどを活用していきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・自主学習ノートを継続し、その中身を点検しながら子どもたちの学びが一層深まるように励ましてください。
- ・生徒のキャリア獲得を支えるために、将来の夢や目標について共に語り合い、体験的活動を仕組んで下さい。
- ・新聞を読み、その内容について語り合う、テレビ視聴の際にその内容について語り合うなど、親子の会話を通して諸事象に関心を持ち、自身の考えを深められるように働きかけてください。また、家庭での読書を奨励してください。